

施設概要

(令和5年4月1日現在)

| | | | | | |
|--------------------------------|--|-------------------|----------------------------|----------------------------------|---|
| 施設名 西白井コミュニティプラザ | | 開館時間 午前9時～午後9時 | | | |
| 所在地 | 〒270-1408 白井市西白井2-16-1 | 併設施設 | なし | | |
| TEL | 047-497-5771 | FAX | 047-497-5772 | | |
| メール | mail@nishishiroyi.jp | | | | |
| 休館日 | 火曜日、祝日・国民の休日、 12月29日～翌年1月3日 | 駐車場 | 30台（内、2台障害者専用 7台縦列スペース） | | |
| 職員構成 R5年4月現在 | センター長 1名（常勤）事務職 1名（非常勤）事務職 4名 合計 6名 | | | | |
| 貸出施設 | 1時間あたりの施設使用料（社会教育認定団体は2分の1） | | | | |
| | 施設名 | | 定員 | 9:00～21:00 | 付帯設備 |
| | 調理室 | 会議利用 | 24名 | 350円 | 机4台、椅子24脚、ホワイトボード ※会議利用の場合は水道ガス使用不可 |
| | | 調理利用 | | 720円 | 机4台、椅子24脚、調理用具・食器一式 炊飯器、スチームオーブンレンジ、可動式 キッチンカウンター、ホワイトボード |
| | 和室1 | 18名 | 250円 | ※各部屋 座卓6台、座布団24枚、座椅子5脚 | |
| | 和室2 | 18名 | 250円 | ※和室1のみ 舞台（調光機能付照明有） | |
| | 会議室1 | 30名 | 350円 | ※各部屋 机10台、椅子30脚 ※会議室1 大型スクリーン | |
| | 会議室2 | 30名 | 350円 | ※会議室1・3 備付ホワイトボード | |
| 会議室3 | 30名 | 350円 | 可動式演台 1台 | | |
| ※営利目的使用の場合は、上記料金の3倍となります。 | | | | | |
| その他施設 | 子ども室（定員16名）、2色刷印刷機（ティールグリーン・ブラック） 多目的ロビー（円卓2台／椅子2脚、長机7台＜作業台1台含む＞／椅子16脚） | | | | |
| 貸し出し 可能備品 | 【館内限定】 TV、プロジェクター、DVDプレーヤー、HDMIケーブル、延長コード、CDラジカセ、 ワイヤレスマイク2本&アンプ、可動式ホワイトボード、ホワイトボードマーカー、Wi-Fi、 卓球台（会議室のみ）、スポーツミラー（会議室・和室のみ）、麻雀卓（会議室・和室のみ） | | | | |

令和4年度 公民館等団体別利用状況 (西白井コミュニティプラザ)

| 種別 | 青少年 | | 成人 | | 女性 | | 高齢者 | | その他 | | 個人 | | 合計 | |
|----|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|--------|
| | 月 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 |
| 4 | 11 | 84 | 33 | 302 | 21 | 102 | 4 | 31 | 36 | 328 | 9 | 43 | 114 | 890 |
| 5 | 13 | 180 | 33 | 267 | 26 | 132 | 3 | 30 | 41 | 376 | 14 | 40 | 130 | 1,025 |
| 6 | 14 | 183 | 30 | 248 | 26 | 126 | 5 | 53 | 46 | 446 | 17 | 52 | 138 | 1,108 |
| 7 | 12 | 125 | 36 | 331 | 19 | 92 | 4 | 43 | 45 | 394 | 20 | 54 | 136 | 1,039 |
| 8 | 10 | 87 | 30 | 239 | 20 | 97 | 3 | 35 | 35 | 289 | 20 | 41 | 118 | 788 |
| 9 | 10 | 106 | 37 | 340 | 22 | 96 | 7 | 74 | 46 | 368 | 22 | 72 | 144 | 1,056 |
| 10 | 13 | 133 | 38 | 299 | 23 | 97 | 8 | 89 | 57 | 512 | 24 | 88 | 163 | 1,218 |
| 11 | 9 | 95 | 37 | 294 | 18 | 82 | 7 | 70 | 41 | 330 | 17 | 116 | 129 | 987 |
| 12 | 17 | 225 | 36 | 339 | 16 | 82 | 8 | 73 | 44 | 332 | 18 | 48 | 139 | 1,099 |
| 1 | 9 | 90 | 37 | 328 | 16 | 89 | 8 | 81 | 41 | 327 | 17 | 68 | 128 | 983 |
| 2 | 10 | 101 | 33 | 311 | 20 | 117 | 7 | 74 | 45 | 401 | 12 | 85 | 127 | 1,089 |
| 3 | 13 | 144 | 43 | 395 | 19 | 110 | 10 | 98 | 50 | 438 | 13 | 106 | 148 | 1,291 |
| 合計 | 141 | 1,553 | 423 | 3,693 | 246 | 1,222 | 74 | 751 | 527 | 4,541 | 203 | 813 | 1,614 | 12,573 |

令和4年度部屋別利用件数・利用人数

| 部屋名 | 利用件数(件) | 利用人数(人) | 年間利用率(%) |
|----------|---------|---------|----------|
| 会議室1・2・3 | 30 | 581 | 2.3 |
| 会議室1・2 | 85 | 1,188 | 5.2 |
| 会議室2・3 | 85 | 1,062 | 5.5 |
| 会議室1 | 499 | 3,487 | 23.9 |
| 会議室2 | 143 | 777 | 8.1 |
| 会議室3 | 300 | 2,304 | 21.6 |
| 和室1・2 | 25 | 331 | 2 |
| 和室1 | 341 | 1,646 | 19.5 |
| 和室2 | 72 | 374 | 6.6 |
| 調理室 | 34 | 823 | 3.2 |
| 合計 | 1,614 | 12,573 | |

令和4年度 西白井コミュニティプラザ 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画後期基本計画から抜粋）

戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを感じるまちづくり
- ・働く場を生み出すまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・「かかわれる農」のまちづくり
- ・みどりを育み活かすまちづくり

戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・都市拠点がにぎわうまちづくり
- ・地域拠点でつながる健康なまちづくり
- ・拠点を結ぶまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

令和4年度 西白井コミュニティプラザ事業計画に基づく

全体の運営方針

- ・市民サービスのコモディティ化を防ぐために、さらなるコミュニティプラザ内のソフト面の充実を図る
- ・白井市民の「架け橋」となり『どんな事もつながる』を目指すべく、地域コミュニティの核としてあらゆる世代を対象とした情報の集約・発信を行う

2. 西白井コミュニティプラザ 講座等実施報告

(1) 事業

| 対象 | 学級・講座名 | 回数 | 参加人数 |
|------------------------------|--------------------------|----------|------|
| 市民相互交流や 地域コミュニティの創造に関する事業 | お悩み解決★iPhone塾 | 1回 | 5人 |
| | しろい楽トレ体操 | 13回 | 14人 |
| | 己書体験幸座 | 1回 | 15人 |
| | フラワーアレンジメント講座 | 1回 | 7人 |
| | ポリマークレイ講座～スプーン&フォークを作ろう～ | 1回 | 5人 |
| | シニアヨガ（椅子ヨガ） | 3回 | 34人 |
| | Halloween event | 10/24～31 | 36人 |

| | | | |
|------------------------------|--|----------|----------------------|
| 市民相互交流や 地域コミュニティの創造に関する事業 | アロマ講座～アロマで作るハンドクリーム | 1日2回 | 18人 |
| | ジュニアスポーツストレッチ講座 | 1回 | 2人 |
| | 書初め教室 | 1日2回 | 15人 |
| | フグのお名前大募集！！ | 1/4～1/18 | 30人 |
| | バレンタイン企画第一弾 お子さまクッキング～チョコ編～ | 1日2回 | 14人 |
| | バレンタイン企画第二弾～プロが作り出す世界観で記念写真を撮ってみませんか～ | 1日2回 | 28人 |
| | 大人のならいごとシリーズ～書道編～ | 1回 | 6人 |
| | 大人のならいごとシリーズ～手芸編～ | 1回 | 9人 |
| | やってみよう講座～フラダンス編～ | 1日2回 | 5人 |
| | コミプラクリスマス～【AM】プロパフォーマーによる体験会およびパフォーマンスショー【PM】サンタさんグリーティング～ | 1回 | 【AM】約50人 【PM】約60人 |
| コミプラクリスマス～サンタさんへお手紙を届けよう～ | 1回 | 31人 | |

(2) 講座以外に行った事業

- ・生き物の飼育を開始

これまで施設キャラクターとして「カエル」を掲げてきたが、新たな象徴として「淡水フグ」を迎え、入れ飼育を開始した。成長を共に見守ることで子どもたちに生き物への愛情を育むきっかけを提供し、また、生き物を通しての地域コミュニティの活性化にも寄与していく。

- ・中高生を対象とした自習室開放（毎開館日17～20時） 登録者80人、延べ利用者759人

(3) 情報の提供

- ・コミプラかわら版の制作（毎月）
（「コミプラかわら版」を館内ロビーに展示し、コミプラホームページにも掲載）
- ・広報しろいへのセンター開催事業情報の掲載
- ・コミプラホームページへの掲載
- ・SNS（Twitter、Instagram等）を活用し、より広域への周知を徹底

(4) 施設の提供

- ・利用者の平等性を重んじ、公平な貸館業務の徹底
- ・利用者からの意見・要望を可能な限り反映し、利用しやすい施設／設備の提供
- ・館内スペースの有効活用の一環で、ピックアップレールを増設。作品展示スペースの拡大を実現
- ・様々な問い合わせに対し、適切な部署への確に繋げるようネットワークの確立を継続

(5) 「withコロナ」「afterコロナ」時代に向けた対応

- ・館内外の環境美化および定期的な館内消毒・換気を徹底し、安心安全な利用をサポート
- ・非接触型検温器を2台準備し、高低差をつけることで身長に合わせた利用ができるよう配慮
- ・コロナ禍による利便性の急激な低下を防ぐため、自然に接触を防げるよう机や椅子の配置を工夫
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる制限内容をイラストを取り入れたPOPで周知し、小さいお子さまから大人まで幅広い年齢層に視覚で伝わるように工夫

事業活動

| | | | |
|------------------|--|-----|----|
| 事業名 | お悩み解決★iPhone塾 | | |
| 対象 | 白井市在住在勤者 | | |
| 参加人数 | 5人 | | |
| 事業の課題と目標 | <p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内各センターにて携帯会社のスタッフによるスマホ講座はあるがiPhoneを対象とした講座がない 賞館利用で来館された際に職員にスマホの使い方を相談している利用者が複数いた | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> iPhoneの基本的な操作について理解を深めてもらう 事前ヒアリングしたわからないことを解決してもらう | | |
| 期 間 | 令和5年4月10日 | 回 数 | 1回 |
| 場 所 | 西井コミュニティプラザ 会議室3 | | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、1人1卓で座席を用意した。 モニターの見やすさや講師の回りやすさを考慮し、机をコの字型に配置した。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> 参加者の満足度も非常に高く、口コミで広まっていたのか参加者以外からも次回開催を期待する声があった。 個人により習熟度が違うため、基本操作は問題ないという方も中にはいた。 少人数での開催となったため、積極的に質問して理解を深めている姿が見受けられた。 | | |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため延期していたが無事に開催できた。（当初は令和4年3月13日開催を予定していた。） 講座当日に講師より資料データをもらった為、資料の印刷に時間がかかってしまった。 写真撮影係で見守っていた職員が講座から離れられず、一時事務室が職員1人体制となってしまった。 | | |

事業報告

| | | | |
|----|-------|---|--|
| No | 日 程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
| 1 | 4月10日 | <p>自分の得意なことを人の役に立てればとタブレットやPCなどの講座を開いてみたいと相談いただいた市民の方に講師を依頼し、事前ヒアリングをもとに参加者の悩みに沿った内容の資料を作成し、講座を行った。</p> | <p>過去に他センターで実施されていたスマホ講座に参加された方や、講座への参加を検討されているシニア層の方より、自身の持っているスマートフォンを使いこなせるようになりたいとご意見を頂いたため、iPhoneを対象にした講座を実施した。</p> |

事業活動

| | | |
|---|---|------------|
| 事業名 | しろい楽トレ体操 | |
| 対象 | 白井市在住・在勤の65歳以上の方 | |
| 参加人数 | 14人 | |
| 事業の課題と目標 | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・筋力が低下しがちなシニア層の健康を維持したい | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・3か月の期間で仲間と活動することを楽しいと感じてもらおう ・健康を意識し、継続して活動してもらおう | |
| 期間 | 令和4年4月27日～令和4年7月27日 | 事前説明+体操12回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 会議室1・2 | |
| 事業参加者への配慮等 | | |
| ・事前説明会のみ机と椅子を事前に配置したが、その後は参加者同士協力して準備・片付けをお願いしている。 | | |
| ※サークル化しての活動が目標となっている為、できることは自分たちで行い難しいところは職員が手助けしている。 | | |
| ・体操だけでなく、休憩中に脳トレ運動もいれて交流を促進する。(保健師さんのはからい) | | |
| 事業の成果(課題や目標に対して) | | |
| ・ご自身の都合で参加できなくなってしまった方やお休みしている方もいたが、無事にサークルを立ち上げた。 | | |
| ・最初は消極的だった人も周りと交流しながら楽しく活動が続いているように感じた。 | | |
| ・当初はバーテーションの開催に苦戦していたが人数緩和により開催不要になったので体操に使える時間が増えた。 | | |
| 備考 | | |
| ・申込自体は16件あったが、事前説明への参加は2人が欠席となり14人で開始することとなった。 | | |
| ・体操2回目より、参加できなくなってしまった方がいた。 | | |
| ・雨の影響で1日、施設都合のキャンセルとなった為、1週振替で8月3日までの実施となった。 | | |
| ・楽トレ体操に興味があるという方がいらっしまったので、今後第二弾としての開催を検討する。 | | |

事業報告

| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|-------|--|--|
| 1 | 4月27日 | <p>【事前説明会】</p> <p>市の保健師さんより、参加者に対して「しろい楽トレ体操」に関する説明をしたり、体調面で不安を抱えている方が相談できる時間を設けることで今後の自主事業に安心して参加してもらえるようにする。</p> | 白井市の他センターでも既にサークル化の実績があるしろい楽トレ体操をコミブラでも実施し、シニア層の健康維持のための活動をサポートする。 |
| 2 | 5月11日 | <p>【第一段階】</p> <p>保健師さん指導のもと、実際に体操を行う。バーテーションの開催も覚えてもらえるように職員がサポートしながら、参加者で協力して準備・片付けをできるようにする。</p> | 白井市の他センターでも既にサークル化の実績がある白井楽トレ体操をコミブラでも実施し、シニア層の健康維持のための活動をサポートする。 |
| 3 | 6月29日 | <p>【第二段階】</p> <p>参加者自身が自主的に行動できるようにサポートし、サークル設立を目指す。サークル内での役割分担を決め、活動にやりがいを感じてもらおう。</p> | 白井市の他センターでも既にサークル化の実績がある白井楽トレ体操をコミブラでも実施し、シニア層の健康維持のための活動をサポートする。 |
| 4 | 8月3日 | 最終体力測定 | 三か月継続した結果の体力測定を行う |

事業活動

| | | | |
|------------------|--|-----|----|
| 事業名 | 己書体験幸座 | | |
| 対象 | 白井市在住・在勤者 | | |
| 参加人数 | 15人 | | |
| 事業の課題と目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆を使うことに慣れていない為、難しいと感じている人が多い ・自分にはできないとマイナスに捉えてしまいがちになっている | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・字をかくことを楽しんでもらう ・参加者自身の「己書」をみつけてもらう | | |
| 期 間 | 令和4年6月5日 | 回 数 | 2回 |
| 場 所 | 西白井コミュニティプラザ 会議室3 | | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加してもらえようように、持ち物不要で参加できるように準備をした ・講師より事前に用意してもらい、講座が始まる前に初にセッティングすることで配布する時間を削減した。 ・イメージが湧くように、講師の作品を展示してみられるようにした。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の字をコンプレックスだと捉えていた方も書く事を楽しめたようだった。 ・字を書く間は無意識的に息をとめてしまっていたというくらいに、すぐ集中して取り組まれていた。 ・隣の席の方とも打ち解けながら、己書を楽しんでいた。 | | |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回は筆ペンを紛失することがなかったが、事前に準備したはずの画仙紙がないという声があった。 ・昨年度の6月に実施した己書の自主事業参加者が、師範になられたとのことで今回サポートとして参加してくれた。 ・以前にも己書を体験したことがある方が参加もあった。 ・なれない筆ペんで押しすぎてしまうのか、筆ペンの墨インクの減りが速かった。 | | |

事業報告

| | | | |
|----|------|--|---|
| No | 日 程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
| 1 | 6月5日 | コミブラの己書サークル「笑笑道場（にここにこどうじょう）」で講師として己書の楽しさを教えている先生による体験幸座とし、90分の時間の中で味わいのあるそれぞれの「己書」を楽しんでもらう。 | 館内に多数掲示している「己書」の作品に興味を持つ市民の方も多く、感染症予防での活動自粛が緩和してきたことで新しいことを始めたいという要望もあったため、活動の活性化につなげていく。 |

事業活動

| | | | |
|------------------|---|----|----|
| 事業名 | フラワーアレンジメント講座 | | |
| 対象 | 白井市在住・在勤 | | |
| 参加人数 | 7人 | | |
| 事業の課題と目標 | <p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に開催したフラワーアレンジメントの難易度が高く、難しいと感じていた人が多かった <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の花を使って、アレンジメントすることを楽しんでもらう。 | | |
| 期間 | 令和4年6月19日 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 会議室1 | | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に参加費を頂戴し、花屋さんに花材を注文した。 ・机は1人1卓で用意し、花が萎れない程度に空調を調整した。 ・先生が用意した花材は講座ギリギリまで分けて水につけておいた | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・一部花材の配布を直前にする必要があり、受付と重なって講師サポートが出来ず心配していたが、参加者が自ら率先して講師の手伝いをしてくれたので大変助かった。 | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・友人と参加申込された方で白井市在住・在勤ではない方がいた。（講座後のおはなしのなかで発覚） ・持参したハサミの柄が折れてしまった方がいた。 ・サークル化に向けて前向きな声が上がっている。 | | |

事業報告

| | | | |
|----|-------|---|---|
| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
| 1 | 6月19日 | 季節の植物を使ったアレンジメントを行い、それぞれの個性や感性を大事にした作品を仕上げる | 初心者には難しいと思われるので、季節の花を楽しみながらお花と触れ合う楽しさを見つけてもらう |

事業活動

| | | | |
|------------------|---|----|----|
| 事業名 | ポリマークレイ講座～スプーン&フォークを作ろう～ | | |
| 対象 | 市内の小中学生対象 | | |
| 参加人数 | 5人 | | |
| 事業の課題と目標 | <p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂で作られたクラフト用の粘土を使用して、フォークとスプーンを作成する。 ・クラフトセットとは違い、いろいろな色を自由に使って作成することができる。 ・講師の方にご指導いただく事でどんな作品が作れるかなど色々教えてもらえることができ、作品の幅が広がる。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの自由研究代わりに子ども達が楽しめるイベントにする ・オリジナルの作品を作ることによって、物を大切にすることやDIYへの関心を高める。 ・SDGsに配慮した物を使い捨てにしない為にも、自分が使うものをずっと長く使えるように工夫する行為の一環 | | |
| 期間 | 令和4年8月20日 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 西井コミュニティプラザ 調理室 | | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・各々が好きに創作できるように粘土の色は自身で選べるようにした ・前回実施時に余った粘土も併せてたくさん色があり、混ぜていろいろな色味が作れるようにした | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過での実施の難しさを感じた ・それぞれが満足いく作品づくりをしていた ・一緒に参加していた保護者の方もお子様と一緒に体験できることを楽しんでいた。 | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・申込自体は6人だったが、体調不良で参加できない子がいて5人+保護者での実施となった | | |

事業報告

| | | | |
|----|-------|---|--|
| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
| 1 | 8月20日 | ハンドメイドに関心のある子ども達を対象に、簡単に造形ができるポリマークレイという樹脂粘土を使った作品作りをしてもらう。 | 夏休みの自由研究として、子どもたちの発想力を活かしながら楽しんでできるイベントを開催する |

事業活動

| | | | |
|------------------|---|----|----|
| 事業名 | シニアヨガ（椅子ヨガ） | | |
| 対象 | 市内在住・在勤の60歳以上の方 | | |
| 参加人数 | 34人 | | |
| 事業の課題と目標 | <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座は全3回で構成されており、毎回違うテーマで行われる。 ・昨今、コロナ禍で外出する機会の減った年配者の筋力の強化の懸念のみならず、講座へ参加することで地域との交流も目的にしている。 ・個人が持つ健康の悩みについて、先生に聞くことができる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で外出の機会が減った高齢者の筋力維持、もしくは健康維持に寄与する。 ・個人の健康の悩みや不安の解消 | | |
| 期間 | 令和4年10月17日、24日、31日 | 回数 | 3回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 会議室1、2 | | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・席の間隔をあげ、かつ先生の指導がしっかり見えるよう配置した。 ・質問時間などを設け、自由に先生に質問できるお時間をとった。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・参加終了後、姿勢や顔つきなどが変わって帰られる方が多数いた。 ・スポーツを普段からされていない方、されている参加者さんそれぞれいっちゃったが、個人に合わせて健康やスポーツ時のお悩みを先生に聞かれ回答をもらって良かったため、目標は達成できたと思う。 ・「健康」に対する意識が高い方が多く、家でも継続したいと仰っている方もいた。 | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・どの回も毎回2、3人の欠席者がいた。今の時期どうしても体調を崩しやすいのか、当日の欠席連絡が多かった。 ・予想よりも参加人数が少なかった為、会議室1、2、3を使用する予定だったが急遽縮小し、会議室1、2だけでの開催となった。 ・当館にもともとサークルなどで参加されている方は比較的参加しやすいように感じた。あと、広報しろいを見たとおっしゃってお電話を頂く場合が多い。SNSでの発信もしているが、そちらからのフィードバックはあまりない。 | | |

事業報告

| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|--------|--|---|
| 1 | 10月17日 | 講座内容：姿勢改善 シニア向けの講座 姿勢が良くなるような体の使い方 ストレッチの講座 | コロナ禍での筋力低下や認知機能の低下を防止するために、積極的に身体を動かす場を求めめる方は多くのシニアの方が待ち望んでいたと思う。シニア層のご本人のみならず、家族からの注目度が高い。 |
| 2 | 10月24日 | 講座内容：脚力強化 シニア向けの講座 足腰の筋力低下を防ぐ、ストレッチの講座 | 〃 |
| 3 | 10月31日 | 講座内容：体幹強化 シニア向けの講座 体幹を鍛えてもらうことで転倒などを防ぐことができる。ストレッチ講座 | 〃 |

事業活動

| | | |
|--|---|---------|
| 事業名 | Halloween event | |
| 対象 | 市内在住の小学生 | |
| 参加人数 | 36人 | |
| 事業の課題と目標 | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨今、イベントが少なくなっている中、子どもに少しでもハロウィン気分を味わってもらいたいと思いを企画した。 ・ 館内での飲食に関しては時間制限があり、子どもがクイズラリーにきてもらった時間が飲食不可な時間である為持ち帰って食べてもらう。 | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達が楽しんでクイズを解いてもらえるように、また来年も開催してほしいと思ってもらえるようなイベントにしたい。 ・ 配ったお菓子を館内ではなく、自宅に持ち帰って食べてもらう事。 ・ クイズをハロウィンにまつわる物にし、知る事によってよりイベントを楽しんでもらいたい。 | |
| 期間 | 令和4年10月24日～令和4年10月31日 | 回数 36人分 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 館内 | |
| 事業参加者への配慮等 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ感染に配慮し、お菓子はすべて個包装になっているものを選定した。お菓子は三種類ハロウィン柄の大きめの紙コップに入れ、切れ目などで工夫を凝らし、内容物がこぼれにくく、持って帰る際につぶれにくい形状にした。 ・ 企画で職員誰でも作れる包装でハロウィンの雰囲気を感じやすい形にできると思う。 ・ さらに折り紙でお化けを作り、手書きで色んな顔のお化けを書いた。梱包容器の端からのぞかせた折り紙のお化けが個々で違い、同じ包装でもすべて違う容器に見え、選ぶ子の顔がほころんだ。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 当初準備した数はコロナ禍のため妥当だと思ったが、あまりに早く規定数に達してしまっただため、設定人数と設定日数が妥当か来年度はもう一度検討する必要があると思う。 ・ 子どもがすごく楽しんでやっているのが職員にも伝わってきた。また是非やって欲しいと言われ、嬉しかった。 ・ 今までコミュニティプラザを知らなかった子どもたちにも周知ができたと思う。 | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ただお菓子をあげるのではなく、クイズラリー形式にしておいたと思う。 ・ 子どもたちが楽しそうに館内を歩いている姿が見れた。次回もこういう形で地域に貢献したい。 ・ コミュニティプラザの周知はかねていなかったが、結果子どもたちがお友達を誘うことで周知に繋がったかのように思う。 ・ なかなか入りづらそうにしている子もいたが、職員が気付き声をかけるとすんなり入ってきてくれる子もいた。 | |

事業報告

| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|--------|---|--|
| 1 | 10月24日 | 参加者13人 子ども達に館内に貼ってあるクイズを解いて答えを持って来よう。 正解すれば、お菓子をプレゼントする。 初日、小学生のみならず幼稚園生が保護者に連れられて来館 | コロナのため、イベントが減った中、少しでもハロウィン気分を子どもたちに感じて欲しい。 子どもたちに楽しんでもらいたい。 |
| 2 | 10月25日 | 休館日 | |
| 3 | 10月26日 | 参加者14人 クイズを解いてもらった子へ、お菓子の配布 | |
| 4 | 10月27日 | 参加者9人 クイズを解いてもらった子へ、お菓子の配布 配付終了 | |

事業活動

| | | |
|------------------|---|-------|
| 事業名 | アロマ講座～アロマでつくるハンドクリーム～ | |
| 対象 | 市内在住・在勤・在学の方優先 | |
| 参加人数 | 18人 | |
| 事業の課題と目標 | <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロマオイルを使い、冬の手荒れを予防するハンドクリームを作成した。アロマはリフレッシュアイテムとして注目されており脳神経を刺激し、ストレス緩和にとっても優秀である。コロナ渦になり、ストレス社会になりつつある中、個人の好みの香りでオラジナルクリームを作ることでストレス緩和に寄与したいと思った。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色んなリラックス効果のある香りを選んでもらう過程を楽しんでもらう。 ・作業工程を簡単にし、香りを選ぶ楽しさ、香りの効能などの講座を楽しんでもらう。 | |
| 期間 | 令和4年12月11日 | 回数 2回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 調理室 | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・作業工程を簡単にするが、自分で作る過程楽しんでもらいたいため、簡単ではあるが化学変化を楽しんでもらえるように工夫した。 ・香りをじっくり選ぶように、紙に香りをつけて、一人一人に差し上げた。そのため、じっくり個々で香りを選んでもらうことができたとと思う。みんな楽しみながら悩まれていたと思った。 ・専門用語は使わず、馴染みのある言葉を使い説明した。ホワイトボードに効能など説明を事前に書くことで参加者の方々が香りを嗅ぎながら、効能を見て選ぶことができた。 | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・作業工程はすごく単純で簡単なので、すぐに作成は終了したが、アロマの効能や説明に参加者の方々がすごく興味をお持ちで質問が飛び交った。 ・すでに次回の講座への参加を希望する声が多く、継続をも望む声が上がった。 ・持ち帰れるのが嬉しいという声もあがった。 | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・次回もアロマオイルを使用した違う種類の講座を考えたいと思う。 ・アロマオイルを通じて、他の講座にも興味を持ってもらいたい。 ・今回参加して下さった方は、9割方広報しろいを見て応募された方だった。広報しろいの影響が大きいかも分かった。次回参加したいという方も、広報を見て待ってます。とおっしゃっていた。 | |

事業報告

| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|--------------|--|---|
| 1 | 12月11日 午前 | 参加者8人 アロマオイルを使って、参加者の方にハンドクリームを作ってもらおう | アロマオイルを使ったハンドクリームを作って、日頃のストレスを少しでも緩和してもらおう。 日用品にアロマオイルを取り入れてもらうことでアロマオイルに触れる機会を増やしてもらおう。 |
| 2 | 12月11日 午後 | 参加者10人 アロマオイルを使って、参加者の方にハンドクリームを作ってもらおう | 〃 |

事業活動

| | | | |
|------------------|---|----|----|
| 事業名 | ジュニアスポーツストレッチ講座 | | |
| 対象 | 市内在住・在学・在勤の方 | | |
| 参加人数 | 2人 | | |
| 事業の課題と目標 | <p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ前のストレッチについては広く周知されているが、スポーツ後のストレッチについては、あまり知られておらず、アフターケアもスポーツ前のストレッチ同様、重要である。怠ると怪我を誘発する。その重要性を周知すると共に、自分の体の正しい知識や意識を向けることについて大切さを伝えたい。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体についての理解を深めてもらいたい。 | | |
| 期間 | 令和4年12月12日 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 和室1 | | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回は定員に対して、参加者が少なかった為、部屋を縮小し、個別に悩んでいることなどにお答えすることができた。 ・畳の上での講座のため、事前の清掃に気を付けた。 ・講座の運び方を工夫するため、講師との打ち合わせも綿密にした。 ・講座参加前と参加後の違いがわかるように写真に残し記録した。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチを通じて、体についての正しい知識と意識を持つことの大切さを伝えることを目的としている。 ・今回は10人のところ2人しか応募がなかった。講座名にジュニアとつけたことで子ども向けの講座だと認識されたのが原因ではないかと思われる。次回開催時にはネーミングに工夫したいと思います。 | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・早くから告知を他のセンターにお願いするべきだった。 ・講座内容がとてもしも良いだけに、周知がうまくできなかったことが悔やまれる。 ・時間が短かったという声があり、1時間で予定したが、少し延長することになった。 | | |

事業報告

| | | | |
|----|--------|-------------------------------|---|
| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
| 1 | 12月12日 | 参加者2人 スポーツ後のストレッチに焦点を充てた講座 | スポーツ後のストレッチに焦点を当てた講座 スポーツ前のストレッチは広く周知されているが スポーツ後のストレッチについてはあまり周知されて いないのが現状である。ストレッチを通して、身体 使い方やメンテナンスの仕方を知ってもらおう。 |

事業活動

| | |
|-------------------|--|
| 事業名 | 書き初め教室 |
| 対象 | 市内在住の小中学生 |
| 参加人数 | 15人 |
| 事業の課題と目標 | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・白井市内在学の小中学生を対象に書き初め教室を行う。冬休みの課題である、書き初めを当館で済ませてもらうのが目的である。 ・冬休みの宿題である、書き初めを当館で済ませてもらう。世代を超えた交流を目的としている。 |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が冬休みの宿題の書き初めをシニア世代の方に教えてもらいながら仕上げる。 ・シニア世代と小学生の世代との良い交流の場になること。 |
| 期間 | 令和5年1月5日 |
| 回数 | 2回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 会議室1. 2 (10時からの部) 会議室1. 2. 3 (11時からの部) |
| 事業参加者への配慮等 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・床にブルーシートをひいて、そのうえで書いてもらったため、床などが汚れずに済んだ。 ・部屋の外に台を設置して、講座が終わった後に部屋を出てからアンケートを書いてもらえるように設置した。そのため、10時からの部と11時からの部の入れ替わりがスムーズにできた。 ・受付に一人、会議室のご案内に一人とスタッフが付いたため、スムーズにご案内できた。 |
| 事業の成果 (課題や目標に対して) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・講座中に子どもが積極的の手を挙げて教えを乞う場面が見受けられた。その子どもにも丁寧に答えるシニアの先生方の姿を拝見し、世代間交流の場としてとても機会になったと感じた。 ・事前に準備していたことと、前回の反省点を活かしたおかげで、時間通りにすべて完了することができた。 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・早くからきて受付開始の時間まで待機する親子もいたが、入れ替えがスムーズだったため、トラブルもなく時間通りスムーズにご案内することができた。 ・自主事業時には毎回当館のスタッフが写真を撮っているが、撮影可能か受付時に聞いたため全員保護者の方に確認をとることができた。(NGの子も11時から前の部に3人いた) |

事業報告

| | | | |
|----|-------------|--|--|
| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
| 1 | 1月5日 10時 | 参加者8人 習字の上手いNPOの会員の田中さんをはじめ、習字の上手い方に来館してもらい、子ども達へ習字を教えてもらう講座 小学生の冬休みの課題である、書き初めを行う講座 | 冬休みの宿題を題材にし、コンピュータで講座を行うことで世代を超えた交流が目的 |
| 2 | 1月5日 11時 | 参加者7人 当日欠席者2人 キャンセル1人 (申込10人中) 書き初め講座 | // |

事業活動

| | | | |
|------------------|---|----|----|
| 事業名 | フグのお名前大募集！ | | |
| 対象 | 市内在住、在勤の方 | | |
| 参加人数 | 30人 | | |
| 事業の課題と目標 | | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コミブラで飼育し始めたフグのお名前を募集し、館にいるフグの周知 ・ 投票を目的とした方の来館 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ センター自体の利用促進 ・ 地域コミュニティの育成に寄与すること。 ・ 他の館との区別化 | | |
| 期間 | 令和5年1月5日～令和5年1月18日 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ | | |
| 事業参加者への配慮等 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 選ばれた際に、SNSにお名前が載ることの承諾を得た。 ・ 窓口にて応募して下さった方全員に手作りのしおりをプレゼントした。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と人をつなぐコミュニケーションのイベントになったと思う。 ・ 今まで来たことがなかった方たちに来てもらうことができました。 ・ 他センターの区別化になった。他の館からもフグの事を色々聞かれた。 | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ しおりがなくなると補充する作業の際に、デザインが少しずつ変わっていき、最初に来ていただいた方と最後の方にきていただいた方でデザインが違った。 | | |

事業報告

| | | | |
|----|------|--|--|
| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
| 1 | 1月5日 | 来館、もしくはハガキで受付 来館して応募してくれた方には、 手作りのしおりをプレゼント。 | コミブラの周知と地域コミュニティの育成への寄与 他センターとの区別化をはかり、当館への利用促進へ つなげたいと思う。 |

事業活動

| | | |
|------------------|--|-------|
| 事業名 | バレンタイン企画第一弾 お子さまクッキング ～チョコ編～ | |
| 対象 | 市内在住・在勤の未就学児および小学生 | |
| 参加人数 | 14人 | |
| 事業の課題と目標 | <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での料理教室の開催のため、持ち帰って食してもらおうが、持ち帰って良かったと思える講座の工夫 ・子どもの創造力を育むお手伝いし、創作意欲をかきたてること。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあるが、調理室の利用制限の緩和したことから、オープン当初より目標に掲げていた、お子さまクッキングのシリーズ化 | |
| 期間 | 令和5年2月4日 | 回数 2回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 調理室 | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・作り方は簡単だが、未就学児に関しては保護者の付添もお願いすることにした。 ・洗い物など極力出ないように配慮した。 ・多くの作業を手作業でできるように工程の工夫をした。 ・作り方を書いた紙をお1人ずつに渡した。 ・作ってもコミブラで試食ができないため、持ち帰るのが楽しくなるようにラッピング作業も取り入れた。 | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの作業を自身の手作業で行ったことで、未就学児の小さな子でも安全に楽しく料理ができた。 ・親子で参加された方や、付き添いで参加された方もいたが、コミュニケーションを取る良い機会になった。 ・相手を思いやりの気持ちをはぐくむ良い機会になった。 | |
| 備考 | | |

事業報告

| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|------------|---|----------------------------------|
| 1 | 2月4日 午前 | 参加者5組 チョコレートを使った菓子作り コンフレークをビニール袋内で砕き、 チョコを入れて形成し、冷やし固めて ラッピングする。 | 人気の講座をシリーズ化することで、コミブラの周知、利用促進が目的 |
| 2 | 2月4日 午後 | 参加者9組 チョコレートを使った菓子作り | 〃 |

事業活動

| | | | |
|------------------|--|----|----|
| 事業名 | バレンタイン企画第二弾 ～プロが割り出す世界観で記念写真を撮ってみませんか～ | | |
| 対象 | 市内在住・在勤の方（0歳から大人まで可） | | |
| 参加人数 | 28人 | | |
| 事業の課題と目標 | | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ファブリックパネルを作ってもらい、ものづくりの楽しさを体験してもらおう。 ・部屋代をコミプラが負担することにより、84cameraさんの負担を軽減し、料金をお安く設定する。 ・たくさんの方に知ってもらうため、コミプラの子ども室の利用者にチラシを配り、声をかける | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・84cameraさんの活動を知ってもらおう。 ・ものづくりの楽しさを知ってもらおう。 ・施設利用の促進 | | |
| 期間 | 令和5年2月12日 | 回数 | 2回 |
| 場所 | 西井コミュニティプラザ 和室1・2 | | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真撮影に関してHPやSNSに写真掲載の可能性がある為、事前に参加者へ可否について確認したため、撮影がスムーズだった。 ・和室2部屋繋げてゆったり使用したため、まだ歩くことができないうさいお子さんもハイハイで歩き回ったりすることがあったが、周りにあまり気を使うことなくゆっくりに参加いただけたのではないかと思う。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・作成後喜んで帰られる参加者さんがいた。すごく楽しかった！このお値段は安い！と言ってもらえた。 ・また撮影してもらいたい！と言って頂けて、84cameraさんの活動を知ってもらえたと思う。 | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ファブリックパネルの作成の間に小さいお子さんに付き添う方と一緒に来られている方が多かった。 | | |

事業報告

| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|-------------|--|---|
| 1 | 2月12日 午前 | 参加者7組 撮影会とファブリックパネルの作成 撮影した写真は後日配付 写真を貼ることが出来るファブリックパネルを撮影の合間に作成する。 | 当館で活動されている団体、84cameraの利用促進、周知を目的とした企画。 当館の利用促進、周知も兼ねている。 |
| 2 | 2月12日 午後 | 参加者3組 撮影会とファブリックパネルの作成 | 〃 |

事業活動

| | | |
|------------------|--|--------|
| 事業名 | 大人のならいごとシリーズ～書道編～ | |
| 対象 | 市内在住・在勤の大人 | |
| 参加人数 | 6人 | |
| 事業の課題と目標 | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・個々で書きたい文字を筆で書いてもらう。 ・大人になっから書を習いたい方の要望に応える。 | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・大人のみの書道講座のため、参加者同士で交流を育みやすくなる。そうした流れから交流が育みやすくなり、サークル化してもらうことを視野に入れ、継続をサポートする。 ・今までとは違う講座を行うことで、違う層のみなさんに館の周知を行い、利用促進に繋げる。 ・シリーズ化することにより、次の講座を心待ちにしてもらい、広報しろいを見てもらう狙いもある。 | |
| 期 間 | 令和5年3月12日 | 回 数 1回 |
| 場 所 | 西井コミュニティプラザ 会議室1 | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真撮影に関してHPやSNSに写真掲載の可能性がある事を事前に参加者へ可否について確認した。 ・参加者さんは赤で修正してほしいと感じたため、講師に頼んだ。 ・講師と参加者の間に緊張感があったため、館長が緩和剤として入った。それから空気が和んだ。 | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・また次回参加したい利用者がいた。 ・毛筆だけでなく、ペン習字や筆ペンなどを使う講座の希望があった。 | |
| 備 考 | | |

事業報告

| No | 日 程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|-------|--------------------------------------|--|
| 1 | 3月12日 | 大人向けの習字教室 講師に書いてもらったお手本を見ながら練習する。 | 開催の希望者が多かった講座。 利用促進や周知を目的とし、要望に応えるべく開催した。 |

事業活動

| | | |
|------------------|---|-------|
| 事業名 | 大人のならいごとシリーズ～手芸編～ | |
| 対象 | 市内在住・在勤の大人 | |
| 参加人数 | 9人 | |
| 事業の課題と目標 | <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸を通じて、地域の方々にコミュニケーションをとってもらいながら、講座を楽しんでもらう。 ・シリーズ化することで、次の講座を楽しみにしてもらえらるよう企画する。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル化してもらうことを視野に入れ、継続をサポートする。 | |
| 期間 | 令和5年3月19日 | 回数 1回 |
| 場所 | 西井コミュニティプラザ 会議室3 | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ・細かい作業が多かったため、講師が説明した内容にさらに細かく詳細を付け加えた。 ・作業工程など資料におこした。 ・ピースやスパンコールは分かりやすいように一人分に分けて用意した。 ・サイズが異なるも見分けが付くように配り方を工夫した。 | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・満足している方が多く、実際に作った作品を身に着けて帰る方もいた。 | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・日曜日開催のため、交通手段がなくタクシーで来館された方もいて「もう少し便利な場所がいい」という意見もあった。 | |

事業報告

| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|-------|---|--|
| 1 | 3月19日 | <p>手芸講座</p> <p>手本にあるプローチを作成する。 ピースやスパンコールを使用し、 プローチを作成する。</p> | <p>市内の講座で一番人気の種類の講座。 手芸はシニア層の女性に人気が高く、開催の告知がでると、すぐに問合せがある。 手芸講座をシリーズ化していく予定。 サークル化も視野に入れ、参加者の活動をサポートしていきたいと思う。</p> |

事業活動

| | | | |
|------------------|--|-----|----|
| 事業名 | やってみよう講座～フラダンス編～ | | |
| 対象 | 市内在住・在勤の女性 *未就学児は保護者付添を条件とする | | |
| 参加人数 | 5人 | | |
| 事業の課題と目標 | | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・無料体験会を機にフラダンスに興味を持ってもらうこと。 ・継続して学べる場がある事の周知 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の講座を機に、サークルの活性化を目標 ・コミブラの周知 ・フラダンスの魅力を知ってもらうこと。 | | |
| 期 間 | 令和5年3月26日 | 回 数 | 2回 |
| 場 所 | 西白井コミュニティプラザ 会議室1・2 | | |
| 事業参加者への配慮等 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと大人の部を分けることで、気兼ねなく参加できる。 ・体験会を開くことで、教室に通いたいがいきなり通うことに抵抗がある方の敷居を低くする。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> ・フラサークルLuanaさんの教室の立ち上げ（2クラス） ・フラダンスの手の動きや曲に興味があることを知って貰えた。 ・フラダンスの教室に興味を持ってもらえた。 | | |
| 備 考 | | | |

事業報告

| No | 日 程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|--------------|-----------------------|--|
| 1 | 3月26日 10時 | 参加者3人 フラダンスの無料体験講座 | フラダンスに興味を持ってもらうことがねらい 講座に参加してもらうことで、教室に通いやすくし、 今後もこちらの教室で活動してもらおう。 教室を支援することで先生方の利用を促進する。 |
| 2 | 3月26日 11時 | 参加者2人 フラダンスの無料体験講座 | 〃 |

事業活動

| | | | |
|------------------|--|----|----|
| 事業名 | コミブラクリスマス～プロバフオオマーによる体験会およびバフオオマンスショー～ | | |
| 対象 | 自由参加 | | |
| 参加人数 | 約50人 | | |
| 事業の課題と目標 | <ul style="list-style-type: none"> 参加費を子供向けに用意することで、興味をひく。 自治会に配付することで、ご家族で来てもらいやすくなる。 | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> コミブラの周知 地域自治体とのつながりを深める。 白井在住のバフオオマーの村山友樹さんの活動の周知 | | |
| 期間 | 令和4年12月24日 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ 駐車場 | | |
| 事業参加者への配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> 参加費としてお菓子の詰め合わせを個数限定で準備した。 イベント会場の区画へ間違っって車が侵入しないようにカラーコーンやババを設置した。 イベント周知の為、巡回の際に子どもたちの道路への飛び出しを警戒し、対応できるようスタッフを配置した。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> 親子連れが大勢来館し、体験会に参加した。 初めて来館してくれた方もいた。 | | |
| 備考 | | | |

事業報告

| | | | |
|----|--------------|---|---|
| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
| 1 | 12月24日 午前 | プロバフオオマーによるディアプロの体験会 プロバフオオマーによるバフオオマンスショー | コミブラの周知を兼ねた、クリスマスイベント プロバフオオマーを呼ぶことで、イベント自体が盛り 上がり、コミブラで楽しい時間を過ごしてもらうこと ができる。 地域住民の方とのつながりを深めること。 |

事業活動

| | | | |
|------------------|--|----|----|
| 事業名 | コミブラクリスマス～サンタさんへお手紙を届けよう！&サンタさんクリスマスグリーティング～ | | |
| 対象 | 自由参加 | | |
| 参加人数 | 手紙参加：31人、サンタさんクリスマスグリーティング：約60人 | | |
| 事業の課題と目標 | | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・サンタにお手紙を書いてもらう。 ・サンタを信じる子どもたちの夢を応援する ・サンタに会いたいと思う子どもたちの想いに応える ・コミブラの周知 | | |
| 期間 | 令和4年11月25日～令和4年12月25日 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 西白井コミュニティプラザ ロビー | | |
| 事業参加者への配慮等 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・サンタに手紙が届くポストを館内ロビーに設置。いつでも手紙を入れられるようにした。 ・子ども一人一人に返信を書いた。 ・イベント当日（24日）に来館できる子には、サンタから直接手紙を渡した。 ・接触到不安がある方のために手指の消毒を徹底した。 ・プロパフォーマーの足長さんより、参加してくれた子にバルーンのプレゼントをした。 | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・思い出作りに寄与できた。 ・手紙を渡した子から後日、大切に手紙を保管しているとの報告をもらった。 | | |
| 備考 | | | |

事業報告

| No | 日程 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|--------------|---|--|
| 1 | 12月24日 午後 | サンタへお手紙を書くことと返信がもらえる。 24日にはサンタがコミブラに来館できる子は、直接返信を受け取ることができる。 サンタが来館できない子には返信を郵送する。 サンタと一緒にプロパフォーマーと出演し、プロパフォーマーからは子どもたちへバルーンのプレゼントがある。 | サンタを信じる子供たちの夢を応援する。 サンタに会いたいと思う子どもたちの想いに応える。 コミブラの周知 |